



令和7年度

2月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和8年1月30日



三大幼 HP は
こちらから

こどもの学びのつながり 支える大人のつながり

園長 安田 徳章

今、年長組では節分に向けた鬼作りが行われています。4人のグループで、大小様々な段ボール箱を組み合わせるなどして大きな鬼を作っています。鬼の背が伸びる程「言葉による伝え合い」「協同性」などの体験も豊かに積み重なっていきます。

去る1月21日に、本園を会場に、近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校の先生たちで連携を図る「江東区連携教育の日」が開催されました。保護者の皆様には保育時間の変更のご協力をありがとうございました。当日は80名近い先生たちがこどもたちの遊びや生活の様子を参観し、幼児の姿から学んでいることや培われている力などを読み取っていただきました。年長組では、降園前の集合時に、小学校の先生が学校生活について写真を見せながら紹介してくださり、「もう明日から学校行きたくなっちゃった」と言う幼児もいて、こどもたちは入学への期待を一層膨らませていました。

保育後に行ったグループ協議では、保育参観を通して読み取ったこどもたちの学びや、その学びを小中学校でもつなげたり生かしたりしていくために大切になることなどを話し合いました。私たち教師同士がこどもの育ちや互いの教育内容などを共有していくことの重要性とともに、特にコミュニケーション力の育成については、小学校、中学校と環境が変わっていく中で育っていくこどもたちにとって、家庭の中での協力体制もとても大切になるというお話もあり、校種を超えた教師同士が学び合う有意義な時間となりました。

当日は、江東区教育委員会の本多教育長も来園され、こどもたちの遊びの輪に入りながら、お正月遊びやごっこ遊びを楽しむこどもたちと温かく関わっていただきました。

本多教育長は「教育長の学校日記（教育委員会ホームページ）」の中で、こどもたちが遊んだり当番活動を行ったりする様子から、数量の育ちに関することやコミュニケーション力、問題解決力などの非認知能力などを育む大切な場としての区立幼稚園のよさを写真とともに紹介いただいています。ぜひご覧ください。（本園ホームページからもアクセスできます。）



今月の指導のポイント



年中りんご組

こどもたちは、劇遊び・楽器遊び・歌などの様々な表現遊びを通して、自分なりに表現することや学級の友達と一緒にいることの楽しさを味わっています。また、たくさんの人に認められることの嬉しさを感じています。こどもも会当日も、日頃こどもたちが楽しんでいることを見ていただけたらと思います。

園庭で育てているそらまめやスナップエンドウの葉やチューリップの芽が出てきたことを喜んでいます。引き続き世話をする中で、生長を楽しみにできるようにします。また、氷や霜柱など冬ならではの自然現象にも気付けるようにし、不思議さなどを感じていけるようにします。

1月に年長児から誕生会の司会や地域クリーンデーのやり方を教えてもらったこどもたち。今後、飼育当番やフラワーロードの世話についても引継ぎを行います。年長児に教えてもらいながら、意欲をもって取り組めるようにします。

年長にし組

寒い毎日ですが、こどもたちは友達と誘い合っで園庭でドッジボールをすることを楽しんでいます。投げゴマでは、繰り返し挑戦し、回せるようになってきました。友達とコマを回す場を作ったりコマ勝負をしたりしています。好きな遊びの中で自分のしたいことに取り組み、自分の思いを友達に伝え、友達の思いや考えを聞きながら一緒に遊びを進める楽しさを味わえるようにします。

2月に第三大島小学校での授業・給食体験があります。修了式に向けての取組や年中組への飼育当番の引継ぎなども始まり、こどもたちも就学を意識するようになると思います。遊びや生活の様々な場面で自分の成長を感じ、就学への期待がもてるようにしていきます。また、一人一人が自分の力を発揮したり、友達と互いのよさを認め合ったりしながら、遊びや生活を進めていけるようにしていきます。